

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
定時株主総会	毎年6月	公告方法	日本経済新聞に掲載して行います。
基準日	毎年3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して 臨時に基準日を定めます。		
期末配当の基準日	毎年3月31日		
中間配当の基準日	毎年9月30日		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部		
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)		

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースリリースや決算情報をはじめ、決算説明会の模様を動画で配信するなど、株主・投資家の皆さま向け情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.sbigroup.co.jp/>



実施期間
2009年1月10日
まで

アンケートにご協力ください！

今後の株主サービスの参考とさせていただきたくアンケートにご協力をお願い申し上げます。

アンケートサイト（画面）への接続方法

1. Yahoo! やGoogleなどの検索エンジンからアンケートサイトを呼び出します。

URL : www.kvoice.jp

2. アンケートサイト(www.kvoice.jp)画面中央の入力ボックスに、**アクセスナンバー***を入力して回答画面にお進みください。

アクセスナンバー
XXXX



ご回答いただいた株主さまの中から抽選で50名様に、「ありがトン」* (1,000ポイント)をプレゼントいたします。

※当社子会社SBIポイントユニオン(株)が運営するポイントサイト「EGサテライト」でご利用可能なポイントです。

【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】 株式会社アイ・アール ジャパン Kvoice事務局 E-mail : inquiry@kvoice.jp

SBIホールディングス株式会社

〒106-6019 東京都港区六本木一丁目6番1号
TEL:03-6229-0100 FAX:03-3224-1970
E-mail : inq-ir@sbigroup.co.jp

※アクセスナンバーは、ご送付の第11期中間報告書でご確認ください。

株主通信

SBIホールディングス 株式会社

第11期 中間報告書

2008年4月1日～2008年9月30日

代表者メッセージ



SBIホールディングス株式会社
代表取締役 執行役員 CEO
北尾 吉孝

ごあいさつ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は当社事業にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
米国サブプライムローン問題に端を発した未曾有の金融危機・経済危機は、わが国企業にも極めて厳しい影響を与えております。このような経営環境下、当社グループにおいては、グループ組織の再編成等で守りを固める一方、株式市況に左右されにくいネット銀行・ネット生損保などの新規事業の早期育成や、世界的な株式相場の大幅な下落という絶好の機会をとらえた投資への準備実施など、今後の成長と成長速度の加速に向けた施策を着実に実行しつつあります。
今後とも、当社事業の発展と企業価値の向上へ向けて、全役職員一同尽力してまいります。
株主の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

当第2四半期累計期間のポイント



※アセットマネジメント事業、ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業、ファイナンシャル・サービス事業、住宅不動産関連事業

Q 当第2四半期累計期間の業績について

当第2四半期累計期間の当社事業を取り巻く経営環境は、国内IPOマーケットや証券市場の低迷、また不動産市況の悪化など非常に厳しいものでありました。そのような状況の中、当社主要事業部門においては、いずれも営業黒字を確保いたしました。しかしながら、民事再生手続き開始の申し立てを行ったゼファーク株式およびSBI証券にて保有していたファンドの売却を行ったことなどにより、特別損失として投資有価証券売却損

120億円を計上いたしました。一方、2008年9月に完了したE*TRADE Korea株式売却に伴う売却益は、韓国ウォンの為替相場の変動による影響を受け当初の想定金額を下回る104億円にとどまるなど、これらの特別損失を補うには至らず、当第2四半期累計期間においては15億円の四半期純損失となりました。このような状況下、株主の皆さまには大変申し訳なく存じますが、当期の中間配当については見送ることとさせていただきました。

Q 現在のSBIグループを取り巻く経営環境を踏まえた今後の戦略について

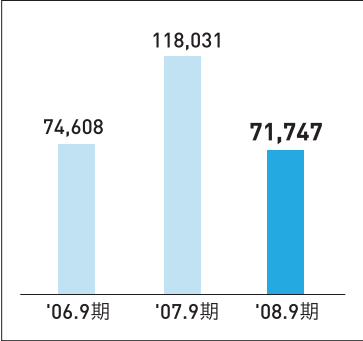
現在の当社グループは、アセットマネジメント事業と証券関連事業を主たる事業としている特性上、国内株式市況による影響を受けやすく、それによって業績も大きく左右される状況にあります。
このような状況を改善し、国内株式市況のみに立脚しない収益体質を構築するべく、2007年から2008年にかけて、新たな事業の柱として開業したネット銀行(住信SBIネット銀行)やネット損保(SBI損害保険)、ネット生保(SBIアクサ生命保険)の早期収益化に努めております。また、利益貢献に即効性のある新規事業として、為替取引関連の事業を手掛けるSBIリクイディティ・マーケットを立ち上げました。

一方、世界の経済状況を鑑み、運用中の既存海外ファンドは投資タイミングを計って投資を待機しておりますが、引き続き国内のみに依存しない収益基盤の確立を目指して、海外での有力パートナーとの投資ファンド設立は継続しており、将来の株式市場の反転・上昇に備えた準備を着々と進捗させております。

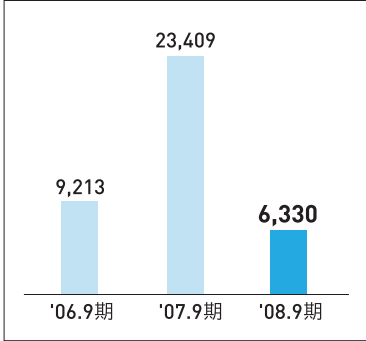
第11期 第2四半期累計期間決算ハイライト	
売上高	717 億円
営業利益	63 億円
経常利益	47 億円
四半期純利益	▲15 億円

決算ハイライト

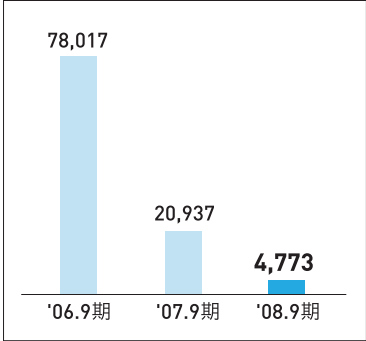
売上高（百万円）



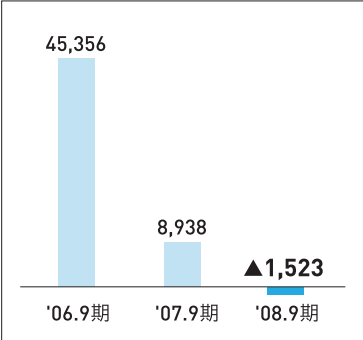
営業利益（百万円）



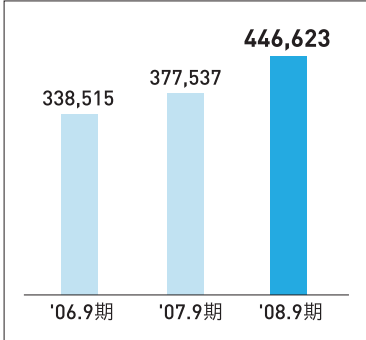
経常利益（百万円）



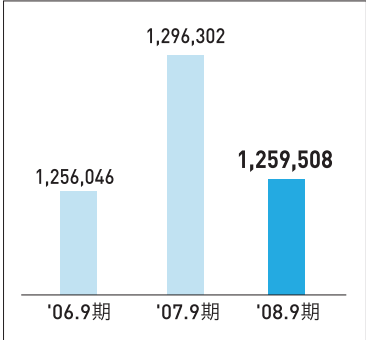
純利益（百万円）



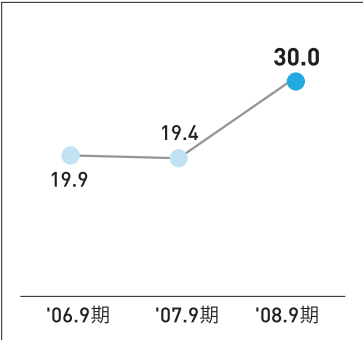
純資産（百万円）



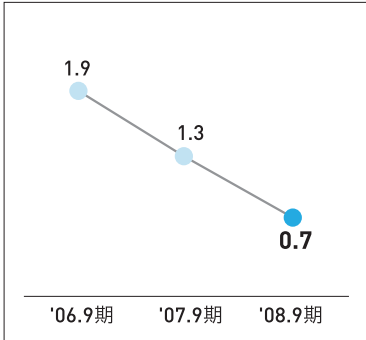
総資産（百万円）



自己資本比率（％）



PBR（株価純資産倍率）（倍）



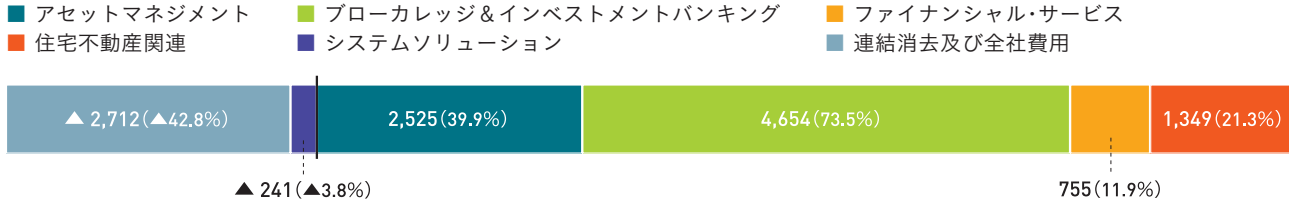
PERについては、当第2四半期連結累計期間において四半期純損失となったことから記載しておりません。
PBR＝各第2四半期末当社株式東証終値÷各第2四半期末1株当たり純資産
なお、08／9末当社株式東証終値は15,210円

セグメント別業績の概況

セグメント別業績の推移

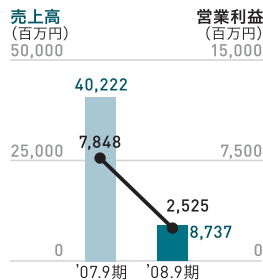
セグメント区分	売上高(百万円)			営業利益(▲は損失)(百万円)		
	2008年3月期中間期	2009年3月期第2四半期累計期間	構成比	2008年3月期中間期	2009年3月期第2四半期累計期間	構成比
アセットマネジメント	40,222	8,737	12.2%	7,848	2,525	39.9%
ブローカレッジ&インベストメントバンキング	36,185	26,952	37.6%	11,284	4,654	73.5%
ファイナンシャル・サービス	10,523	11,145	15.5%	847	755	11.9%
住宅不動産関連	31,957	23,846	33.2%	4,449	1,349	21.3%
システムソリューション	59	2,956	4.1%	▲281	▲241	▲3.8%
連結消去及び全社費用	(917)	(1,890)	(2.6%)	(738)	(2,712)	(42.8%)
合 計	118,031	71,747	100.0%	23,409	6,330	100.0%

営業利益の構成比(百万円)



アセットマネジメント事業

- 当第2四半期累計の国内新規上場会社数が、前年同期の50社を大きく下回る11社となったIPO市場の低迷等により、前年同期比減収減益となりました。
- しかしながら、当第2四半期累計の株式等への投資実行額は前年同期比4.1%増加の507億円と、投資の選別を厳密に行いながら高水準の投資を実行しました。



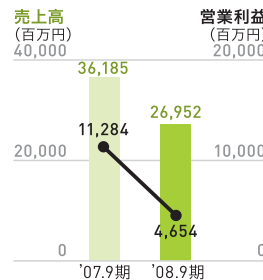
グループ運用資産総額の状況 2008年9月末現在 5,758 億円 (住宅不動産関連セグメント等を含む)

プライベート・エクイティ 2,623 億円	
【IT・バイオ等】 合計 1,212 億円 インターネット67／ブロードバンド・メディア615／モバイル288／バイオ・その他242	
【環境・エネルギー】 70 億円	
【バイアウト・メザニン】 合計 339 億円 バリュアアップ210／メザニン129	
【海外】 合計 689 億円 中国・香港・その他※484／ベトナム※102／インド※104	
【直接投資】 312 億円	
投資信託等 2,598 億円	不動産等 537 億円
投資信託 437／投資顧問2,136 ／投資法人25	開発物件 224／稼働物件 313

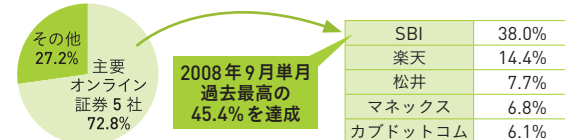
不動産は投資総額、投資信託・投資顧問等は2008年9月末の時価純資産、その他ファンドは2008年9月時点の各ファンドの直近決算に基づく時価純資産で記載
億円未満は四捨五入
※決算期を迎えていないものについては、出資約束金額ベースで算出

ブローカレッジ＆インベストメントバンキング事業

- 証券市場全体の低迷が続くものの、SBI証券の個人株式委託売買代金シェアは前年同期より3.9ポイント上昇し38.0%、個人信用取引委託売買代金シェアは同5.3ポイント上昇し44.1%となりました。
- SBI証券の外国為替保証金取引(FX)は、正規手数料の無料化およびスプレッドの縮小が奏功し、大幅に拡大いたしました。引き続き証券関連事業全体における収益源の多様化を進めつつ、収益の安定化を図ってまいります。

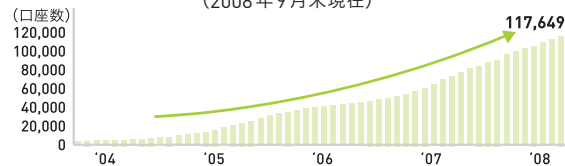


主要オンライン証券の個人株式委託売買代金シェア (2008年4月～2008年9月)



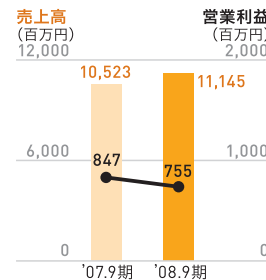
出所：東証統計資料、JASDAQ 統計資料、各社 HP 等公表資料より当社にて集計
※個人株式委託売買代金は3市場(1・2部)とJASDAQを合算
SBI証券はインターネット取引のみで算出

SBI証券 外国為替保証金取引の口座数推移 (2008年9月末現在)

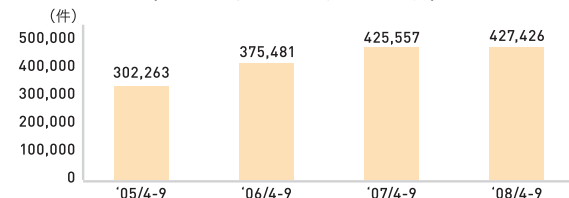


ファイナンシャル・サービス事業

- 上場子会社であるSBIベリトランス(EC事業者向けオンライン決済ソリューションサービスを提供)の業績は好調に推移し、売上高は前年同期比40.9%増加の21億円となりました。
- 国内最大級の金融系比較・見積もりサイトを運営するマーケットプレイス事業では、「保険の窓口インズウェブ」が好調に見積もり件数を伸ばし、全体の取引件数は42万7千件と過去最高を更新しました。
- 2008年1月に開業したSBI損害保険は、保険料引き下げやサイトリニューアルが奏功して成約件数が伸長しました。また、2008年4月開業のSBIアクサ生命保険は、募集代理店での商品販売などを開始し、新たな販売チャネルを開拓しております。



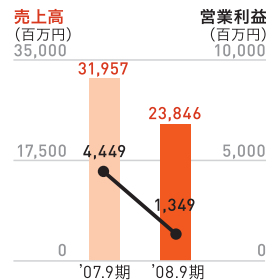
マーケットプレイス事業の取引件数推移 (金融系比較サイト：8サイト合計)



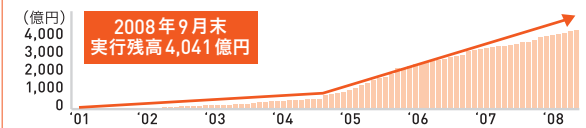
※取引件数は、サイト上で実際に見積もり、資料請求、仮申込等の取引を行った件数

住宅不動産関連事業

- 国内不動産市場収縮の影響を受け前年同期比減収減益となりましたが、アジア地域を中心に新規投資を実行いたしました。
- 住宅ローン商品「フラット35」を業界最低水準金利で提供するSBIモーゲージは、順調に実行残高を積み上げております。

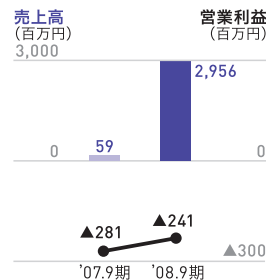


SBIモーゲージ 住宅ローン実行残高推移



システムソリューション事業

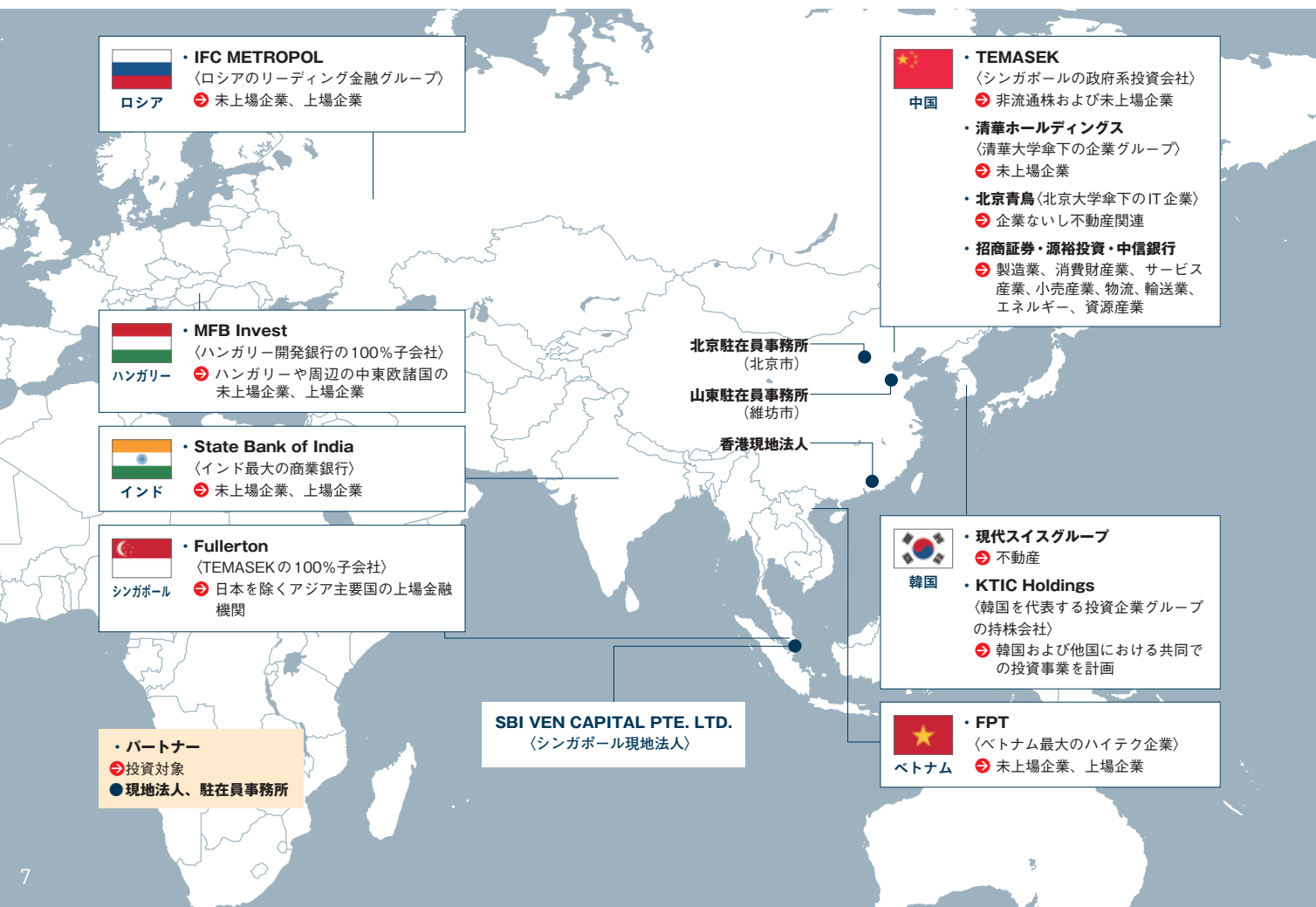
- SBI Roboにおいては営業損失を計上しましたが、2008年3月に連結子会社化したSBIネットシステムズ(金融システムの開発・販売等)は業績が好転し、黒字化いたしました。



SBI海外レポート

SBIグループでは、海外事業展開におけるグループ目標として「2013年3月期までに、営業利益の2分の1を海外で獲得するグローバル企業への転換を目指す」というビジョンを掲げております。海外有力パートナーと共同で投資活動や事業展開を行っていくことで、グローバルネットワークの拡張を図っております。

なお、現在は昨今の世界経済状況を踏まえ、運用開始済みのファンドについては投資タイミングを計って投資を待機している状態ではありますが、将来の市場の回復に備えた新ファンドの設立準備は着々と進行しております。



カンボジアに「プノンペン商業銀行」開業

SBIホールディングスと韓国の現代スイスグループが共同でカンボジアに設立した商業銀行「プノンペン商業銀行(Phnom Penh Commercial Bank Limited)」が、同国の金融監督庁より正式に業務開始の認可を取得し、2008年9月1日に営業を開始いたしました。

当社の同行への出資持分比率は40%となり、日本の金融グループとしては初めて、同国に銀行を設立したことになります。同行では、預金運用業務からスタートし、不動産関連のプロジェクトファイナンス業務、融資業務など順次業務を拡大してまいります。また、カンボジア証券取引所の開設が2009年下期に予定されていることから、同国へ進出を図る外国企業を対象とした融資業務も行っていく予定です。



シンガポール現地法人のご紹介

SBIグループのシンガポール現地法人である「SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.」は2007年2月に設立され、計12名の陣容で業務を行っています(2008年9月30日現在)。

同社では、パートナー企業との緊密な協力関係を最大限に活かしながら、インド、ベトナム、シンガポールおよびその他アジアの高成長国を対象に投資を行っています。投資判断の基準としては成長ポテンシャルの高い企業であることはもちろん、その企業がいかに社会の一員として社会の発展に貢献し得るかを重要視しております。



北京駐在員事務所のご紹介

中国北京市にある北京駐在員事務所では、SBIグループが手掛ける中国関連ビジネスにかかわる現地業務、および中国ビジネスの市場関連情報の収集を主な活動内容としています。今後も投資ファンドの業務体制を強化していくとともに、さまざまな産業領域への事業拡大を目指します。



新規事業のご紹介

住信SBIネット銀行  住信SBIネット銀行株式会社

利便性の高いサービスラインアップ

「今、一番使える銀行」

住信SBIネット銀行では、競争力のある金利の設定、主要なコンビニATMでの利用手数料を無料で提供するなど、ネット専業銀行ならではの特性を活かしたサービスを提供しております。金融情報誌の行った「今、一番使える銀行」総合ランキングでは先行他社を抑え1位を獲得いたしました。※

また、同行ではSBI証券と連携し「SBIハイブリッド預金」を設けるなど、銀行口座と証券口座とのシームレスなサービスを提供することで、資産運用をスムーズに行っていただけのサービスも提供しております。さらに2008年8月4日より、信用取引をご利用のお客さまも「SBIハイブリッド預金」のご利用が可能になりました。

SBIハイブリッド預金

SBI証券での現物取引の買付代金や、信用取引における必要保証金・現引可能額に充当することができ、画期的な銀行預金(円普通預金)です。なお、SBIハイブリッド預金をご利用いただくには、SBI証券と住信SBIネット銀行の両方の口座が必要です。

同行では今後とも、こうしたお客さまにとって利便性の高い商品・サービスを提供することで、お客さまの多様なニーズに応えてまいります。

※『ダイヤモンド・マネー』2008年9・10月号/ネット取引が可能な主要20行を対象

使いやすさ

利用可能なATM台数(セブン銀行、ゆうちょ銀行、イーネット、ローソンATM)は5万台以上。(2008年3月31日現在)

金利(2008年11月12日現在)

円普通預金

	100万円未満	100万円以上
利率(税引前)	0.200%	0.220%

SBIハイブリッド預金

利率(税引前)	0.450%
---------	--------

 SBI損害保険株式会社

ネット損保だからできる納得の保険料

「お客さま第一主義」のサービスを追求

インターネットの利便性を最大限活用し、よりリーズナブルな保険料で、お客さま一人ひとりに最適な保険サービスをお届けすることを目指しております。自動車保険においては、ロードサービスや事故対応についても、万全のサポート体制を実現し、安心と信頼のサービス提供に努めております。

保険料

- ・インターネットからの手続きで最大6,000円割引
- ・走行距離が長距離でも保険料はそのまま

事故対応

- ・24時間365日の事故受付サービス

ロードサービス

- ・全国約5,500カ所(2008年7月現在)のロードサービス拠点
- ・距離無制限でレッカー移動※
- ※ SBI損保安心ロードサービスデスクが指定する最寄りの修理工場となります。なお、お客さま指定の修理工場希望の場合は、30kmまでが無料。

 SBIアクサ生命保険株式会社

日本初、インターネット完結型生命保険会社

徹底したコスト管理で低価格を実現

インターネット専業の生命保険会社として展開するSBIアクサ生命。インターネット活用により、運営コストを徹底的に削減することで、業界最低水準の保険料を実現いたしました。

また、豊富な保険知識を持つ精鋭スタッフにより質の高いサービスを提供しております。

保険料が安い理由

1. オペレーションを徹底的にオートメーション化
2. 販売チャネルをインターネットに特化
3. ペーパーレス、人員抑制、店舗を持たないことなどによるコスト削減

 SBIカード株式会社 **業界トップクラスの最高1.2%キャッシュバック還元率**

顧客ニーズに着目した充実のサービスとカード機能

- サークルプラス**…………… キャッシュバックに集約したシンプルなポイントプログラム。最高1.2%のキャッシュバックが魅力です。
- オンラインチェック**… お客さまご自身で「お支払日」「お支払金額」を設定可能。また、オンラインで24時間いつでもお支払いができ、大変便利です。
- マルチバンク**…………… 提携金融機関の銀行口座を最大5つまで設定してお取り引きいただけます。



顧客中心主義のサービス・商品により、皆さまから多くのご支持をいただいております。

住信 SBI ネット銀行

住信 SBI ネット銀行では、2007 年 9 月 24 日の開業から 389 日で預金残高が 5,000 億円を突破しました。また、住宅ローン実行累計額についても取り扱い開始から 411 日で 1,000 億円を突破しており、これは他のインターネット専業銀行と比較して最速での到達であるだけでなく、倍以上のスピードでの到達となります。

各行が預金残高 5,000 億円突破に要した日数

	開業日	預金残高が 1,000 億円を 超えた時期※1	開業からの 日数	預金残高が 5,000 億円を 超えた時期※1	開業からの 日数	預金残高※2
イーバンク銀行	2001/7/23	2003/10/1～ 2004/3/31	801～983 日	2007/4/20	2,098 日	7,768 億円
ジャパンネット銀行	2000/10/12	2002/10/1～ 2003/3/31	720～901 日	—	—	4,462 億円
ソニー銀行	2001/6/11	2002/3/1～ 2002/3/31	264～294 日	2004/12/1～ 2004/12/31	1,270～ 1,300 日	13,382 億円
住信 SBI ネット銀行	2007/9/24	2007/11/19	57 日	2008/10/16	389 日	5,037 億円

※1 各行公表資料より、預金残高がそれぞれの金額を超えたことが判明した時期。
※2 住信 SBI ネット銀行は 2008 年 10 月 16 日の残高、イーバンク銀行、ジャパンネット銀行、ソニー銀行は 2008 年 9 月末の残高。

SBI 損害保険

業界他社との保険料比較

保険料例 1 (ミニバン) 夫婦で休日の外出や日常の買い物に車を使用する場合(車両保険あり)

SBI 損保	ダイレクト系 A 社	ダイレクト系 B 社	代理店系 D 社	保険始期日：2008 年 12 月 1 日 車名：セレナ 型式：NC25 料率クラス：車両 4 対人 5 対物 4 傷害 4 居住地：神奈川県 性別：男性 走行距離：年間 5,000km 初度登録：2007 年 10 月 運転者範囲：本人・配偶者 ノンフリート等級：15 等級 免許証の色：ゴールド 使用目的：日常・レジャー 年齢条件：30 歳以上補償 対人：無制限 対物：無制限 人傷：5,000 万円 搭傷：1,000 万円 車両：一般 190 万円(免責 0-10 万円) 割増引：新車割引・インターネット割引・証券不発行割引
年間 41,510 円	年間 43,950 円	年間 51,200 円	年間 69,460 円	

保険料例 2 (軽自動車) 本人だけマイカー通勤で毎日車を使用する場合(車両保険なし)

SBI 損保	ダイレクト系 A 社	ダイレクト系 C 社	代理店系 D 社	保険始期日：2008 年 12 月 1 日 車名：ワゴン R 型式：MH215 居住地：宮城県 性別：男性 走行距離：年間 5,000km 初度登録：2006 年 10 月 運転者範囲：本人 ノンフリート等級：12 等級 免許証の色：ゴールド 使用目的：通勤・通学 年齢条件：30 歳以上補償 対人：無制限 対物：無制限 人傷：5,000 万円 搭傷：500 万円 車両：なし 割増引：エアバッグ割引・安全ボディ割引・ABS 割引・インターネット割引・証券不発行割引
年間 14,770 円	年間 16,050 円	年間 18,360 円	年間 26,760 円	

保険料例 3 (セダン) 家族以外の方も車を運転される場合(車両保険あり)

SBI 損保	ダイレクト系 A 社	ダイレクト系 B 社	代理店系 D 社	保険始期日：2008 年 12 月 1 日 車名：マーク X 型式：GRX121 料率クラス：車両 5 対人 5 対物 5 傷害 4 居住地：東京都 性別：男性 走行距離：年間 2,000km 初度登録：2007 年 10 月 運転者範囲：限定なし ノンフリート等級：17 等級 免許証の色：ゴールド 使用目的：日常・レジャー 年齢条件：26 歳以上補償 対人：無制限 対物：無制限 人傷：5,000 万円 搭傷：500 万円 車両：一般 290 万円(免責 0-10 万円) 割増引：新車割引・盗難防止装置割引・インターネット割引・証券不発行割引
年間 53,440 円	年間 54,500 円	年間 67,590 円	年間 85,470 円	

※ SBI 損保と比較の対象としているダイレクト系 A 社、B 社、C 社および代理店系 D 社との契約条件、補償内容等は同一もしくは近似の内容であり、必ずしも一致しない場合があります。
※記載の保険料は 2008 年 10 月 24 日のものであり、保険料率の改定等により変更となる場合があります。また、契約の条件等によって、保険料は異なります。

SBI アクサ生命保険

SBI アクサ生命では、これまで業界最低水準の保険料で提供してきた「カッチと定期」(定期保険)につき、2008 年 10 月 2 日より「高額割引制度」を導入いたしました。これは保険金額 2,000 万円以上の契約に加入いただいたお客さまに、より割安な保険料を提供するための制度であり、従来と比較して最大 46.6% の割引が可能です(保険金額 2,000 万円以上の契約が対象)。

代表的な定期保険との比較 (3,000 万円 10 年定期の死亡保険の場合)

区分		保険会社	SBI アクサ生命 高額割引前	ネット生保 A 社	既存生保 B 社	既存生保 C 社	SBI アクサ生命 高額割引後
保険料 月払	男性	30 歳	4,590 円	3,484 円	4,650 円	4,920 円	3,450 円
		40 歳	8,070 円	7,240 円	8,190 円	8,370 円	7,020 円
		50 歳	16,860 円	17,194 円	17,400 円	17,280 円	16,230 円
	女性	30 歳	3,570 円	2,344 円	3,660 円	3,870 円	2,400 円
		40 歳	5,610 円	4,528 円	5,700 円	5,850 円	4,560 円
		50 歳	9,630 円	9,034 円	9,840 円	9,870 円	8,970 円

※ 2008 年 5 月 21 日「日経トレンディネット」掲載記事を参照の上、当社にて作成。
※「カッチと定期」に付加することのできる災害割増特約には高額割引制度は適用されません。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 2008.3.31	当第 2 四半期連結会計期間末 2008.9.30	科 目	前連結会計年度末 2008.3.31	当第 2 四半期連結会計期間末 2008.9.30
資産の部			負債の部		
流動資産	1,069,271	1,031,952	流動負債	740,633	759,347
現金及び預金	160,281	151,561	短期借入金	53,831	128,754
営業投資有価証券	110,750	106,871	1 年内償還予定の社債	106,460	99,210
預託金	POINT 3 313,930	317,365	信用取引負債	POINT 3 144,114	120,307
信用取引資産	POINT 3 292,882	249,493	受入保証金	POINT 3 272,005	266,672
その他	191,425	206,660	その他	164,221	144,403
固定資産	149,723	226,084	固定負債	82,879	46,285
有形固定資産	12,652	7,005	特別法上の準備金	7,967	7,252
無形固定資産	POINT 1 71,088	149,269	負債合計	831,480	812,885
投資その他の資産	65,983	69,809	純資産の部		
繰延資産	252	1,471	株主資本	POINT 1 231,195	377,508
			評価・換算差額等	10,020	283
			新株予約権	4	12
			少数株主持分	POINT 1 146,546	68,818
			純資産合計	387,766	446,623
資産合計	1,219,247	1,259,508	負債純資産合計	1,219,247	1,259,508

POINT 1

SBI 証券の完全子会社化に伴い、無形固定資産の“のれん”が増加した一方、純資産の部において少数株主持分が減少し、株主資本が大幅に増加しました。

POINT 2

2008 年 9 月に総額 500 億円の普通社債を償還しました。この社債償還は取引銀行からの借入金および自己資金によりまかいました。

POINT 3

SBI 証券を連結しているため、流動資産においては預託金や信用取引資産、流動負債においては信用取引負債や受入保証金などの証券会社特有の勘定が含まれています。これらの勘定が、連結バランスシートを大きく見せる要因となっています。

連結損益計算書

(要約)

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 2007.4.1～2007.9.30	当第2四半期連結累計期間 2008.4.1～2008.9.30
売上高	118,031	71,747
売上原価	63,322	33,500
売上総利益	54,708	38,246
販売費及び一般管理費	31,298	31,916
営業利益	23,409	6,330
営業外収益	624	1,822
営業外費用	3,096	3,379
経常利益	20,937	4,773
特別利益	7,066	12,161
特別損失	2,929	15,659
税金等調整前四半期(中間)純利益	25,075	1,275
法人税等	12,106	3,947
少数株主利益(▲は損失)	4,030	▲1,148
四半期(中間)純利益(▲は損失)	8,938	▲1,523

POINT 1

E*TRADE Korea株式の売却に伴う投資有価証券売却益を計上したことにより、特別利益が増加しました。

POINT 2

民事再生手続き開始の申し立てを行ったゼファーの全株式売却に伴い、投資有価証券売却損を計上したことにより、特別損失が増加しました。

『四半期業績のご報告』における適用初年度の対応について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語などが、当第2四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なりますが、当社といたしましては、株主の皆さまの利便性を考慮し、本誌においては数値の比較がしやすいよう主要な財務項目は並べて記載することといたしました。前年同期に係る数値やグラフは参考データとしてご確認ください。

連結キャッシュ・フロー計算書

(要約)

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 2007.4.1～2007.9.30	当第2四半期連結累計期間 2008.4.1～2008.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,397	▲ 3,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 8,304	▲ 1,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,650	▲ 3,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	278
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲ 15,171	▲ 8,406
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23,356	1,837
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	▲ 23	▲ 107
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	223
現金及び現金同等物の期首残高	115,092	159,007
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	123,253	152,553

POINT 1

SBI証券を連結しているため、信用取引資産および信用取引負債の増減や顧客分別金の増減等、証券会社特有の勘定の増減が営業活動によるキャッシュ・フローの変動に大きく影響します。

POINT 2

E*TRADE Korea株式の売却等により連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入があった一方で、投資有価証券の取得や子会社株式の追加取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなっています。

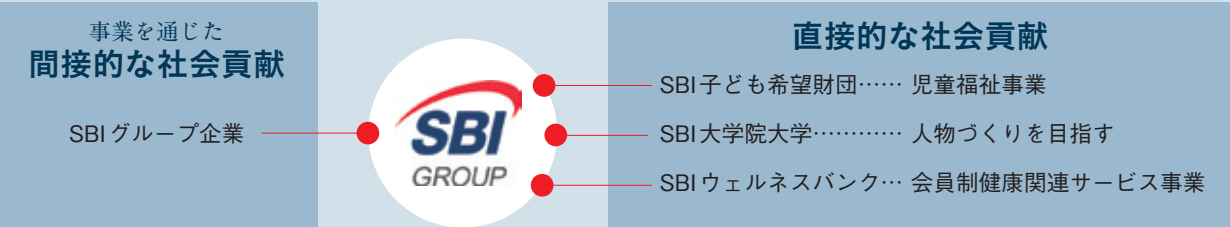
POINT 3

2008年9月末の現金及び現金同等物は1,525億円を有しており、前年同期末より増加しております。

SBIグループのCSR（企業の社会的責任）活動

企業は社会の一構成要素であり、社会があって初めて事業を営むことができます。SBIグループは、「企業の社会性」を強く認識し、CSR活動にも積極的に取り組んでいます。

SBIグループの社会貢献の4つの柱



PickUp! SBI大学院大学

<http://www.sbi-u.ac.jp/>

人材育成への取り組み

2007年11月、当社が設立を推進してきたSBI大学院大学の設置認可が文部科学省より下り、2008年4月に開校を迎えることができました。

SBI大学院大学では、確たる倫理的価値観と科学的経営理論とを具備した「人物」の育成を重要な教育方針として「徳育」と「実学」に重点を置いた教育を実践してまいります。授業は、インターネットを利用したe-ラーニングを前提としており、ほとんどの授業について時間と場所の制約を



e-ラーニングの授業例

受けることなく受講することが可能なため、社会人経験者を対象として幅広い層からの入学志願者を受け付けております。

【SBI大学院大学の軌跡】

- 2006年 5月 SBIユニバーシティ(株)を設立
「人物をつくる」ため、講師を招いた公開講義の開催、大学院大学設立準備
- 2007年 4月 文部科学省に大学院大学設置を申請
- 2007年11月 文部科学省よりSBI大学院大学の設置認可を取得
- 2008年 4月 SBI大学院大学 開校

会社概要 (2008年9月30日現在)

社 名	SBIホールディングス株式会社	役 員	代表取締役 執行役員 CEO	北尾 吉孝
英文表記	SBI Holdings, Inc.		取締役 執行役員 COO 兼 CFO	澤田 安太郎
本 社	東京都港区六本木一丁目6番1号		取締役 執行役員 専務	平井 研司
事業内容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等		取締役 執行役員 専務	相原 志保
設 立	1999年7月8日		取締役 執行役員 専務	中川 隆
資 本 金	55,194百万円		取締役 執行役員 常務	木下 玲子
従業員数	連結2,568名 単体229名		取締役 執行役員	松井 真治
			取締役 執行役員	石原 憲之
			取締役 執行役員	朝倉 智也
			取締役 執行役員	松井 一幸
			取締役 執行役員	沖田 貴史
			取締役	田坂 広志
			取締役	夏野 剛
			常勤監査役	渡辺 進
			監査役	平林 謙一
			監査役	島本 龍次郎
			監査役	藤井 厚司

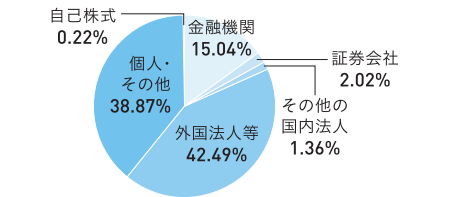
株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数	34,169,000株
発行済株式総数	16,760,616株
株主数	209,061名

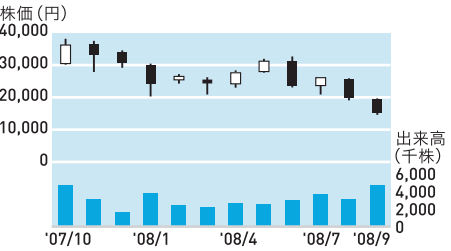
大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	771,506	4.60
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	513,810	3.07
シービーニューヨーク オービス ファンズ	503,035	3.00
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	498,385	2.97
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン 610	497,907	2.97
バンクオブニューヨークシーエムクライアントアカウントジェイビーアルディアイエスジーエフイー・エイシー	480,061	2.86
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	423,434	2.53
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	364,514	2.17
北尾 吉孝	292,350	1.74
ザチエースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	280,968	1.68

所有者別株式分布状況



株価／出来高の推移



SBIグループ主要企業一覧

アセットマネジメント事業	投資事業組合等の管理・運用	SBI インベストメント(株) SBI ブロードバンドキャピタル(株) ソフトトレンドキャピタル(株) SBI キャピタル(株) SBI キャピタルソリューションズ(株)
	国内外のベンチャー企業等への投資	SBI ホールディングス(株) SBI KOREA HOLDINGS CO.,LTD. SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.
	投資顧問・その他事業	SBI アセットマネジメント(株) SBI バイオテック(株) SBI アラブロモ(株)
ブローカレッジ& インベストメントバンキング事業	証券業・商品先物業	(株)SBI証券 SBI フューチャーズ(株) SBI ジャパンネクスト証券(株) SBI ファンドバンク(株) SBI リクイディティ・マーケット(株)
ファイナンシャル・ サービス事業	マーケットプレイス ファイナンシャル・プロダクト ファイナンシャル・ソリューション事業等	SBIホールディングス(株)(ファイナンシャル・サービス事業各事業部) モーニングスター(株) ゴメス・コンサルティング(株) SBIペリトランス(株) SBIリース(株) SBIイコール・クレジット(株) SBIポイントユニオン(株) オートックワン(株) SBIオートファイナンス(株)
	新規事業	住信SBIネット銀行(株) SBI損害保険(株) SBIアクサ生命保険(株) SBIカード(株) SBIカードプロセッシング(株)
住宅不動産関連事業	不動産事業	SBIホールディングス(株)(不動産事業本部) (株)リビングコーポレーション SBIプランナーズ(株)
	不動産金融事業	SBIモーゲージ(株) (株)セムコーポレーション
	生活関連ネットワーク事業	SBIホールディングス(株)(生活関連ネットワーク事業本部) ホメオスタイル(株) イー・ゴルフ(株)
システムソリューション事業	システム企画・設計・運用業務等	SBI Robo(株) SBI ネットシステムズ(株)

＜免責事項＞この報告書に記載されている、SBIホールディングス(株)及び連結子会社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実のないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは各資料発表時点においてSBIホールディングス(株)の経営方針により、入手可能な情報及びSBIホールディングス(株)が合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。したがって、主要市場における経済情勢やサービスに対する需要動向、為替相場の変動など、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている見通しとは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

P1 代表者メッセージ写真：『財界』2008年10月21日発売号より

株券電子化による株式事務の変更

- ①証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主さま
例：株券をお持ちの場合など
→ご所有の株式はみずほ信託銀行株式会社に開設される特別口座で管理されます。

	2008年12月30日まで	2009年1月5日から
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先 (フリーダイヤル)	0120-288-324(変更ありません)	
取扱業務	名義書換、住所変更、氏名・名称・代表者等変更、相続、届出印変更、配当金振込指定、株券交付、未払配当金の支払、支払明細発行、株式異動状況等証明発行、株券喪失登録等	自己名義振替口座への振替、住所変更、氏名・名称・代表者等変更、相続、届出印変更、配当金振込指定(株式数比例配分方式を除く)、未払配当金の支払、支払明細発行、株式異動状況等証明発行(株券交付、株券喪失登録等はありません)
取扱店	(株主名簿管理人取次所) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	(特別口座管理機関取次所) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

- ②証券会社の口座を開設されて預託されていた場合

	2008年12月30日まで	2009年1月5日から
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	
取扱業務	未払配当金の支払、支払明細発行以外※	

※未払配当金の支払、支払明細発行については、「①ほふりに株券を預けられていない株主さま」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・取扱店をご利用ください。